

2012年5月1日現在

日本国際文化学会第11回全国大会プログラム（大会日程）

7月7日（土）【会場：国際文化会館】

9:00~11:00 自由論題〔セッションA・B〕

●セッションA

司会：植野 雄司（プール学院大学国際文化学部准教授）

1) 澁谷 鎮明（中部大学国際関係学部教授）

U. メーワルト（中部大学国際関係学部教授）

杓谷 茂樹（中部大学国際関係学部教授）

「ふたつの高山—海外からの団体ツアー客・個人客の視点と観光行動」

2) 守屋 貴嗣（法政大学大学院国際文化研究科兼任講師）

『満洲文学論争』の一試論

3) 周 家形（愛知淑徳大学大学院現代社会研究科 博士後期課程）

「長春市における『満州国』遺跡群をめぐる文化遺産政策評価」

4) 山田 和夫（愛知県立豊明高等学校教諭）

「ラフカディオ・ハーンの越境性と時代性」

●セッションB

司会：木原 誠（佐賀大学文化教育学部教授）

1) 鄭 榮蘭（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科博士後期課程）

「韓国の参与政府の文化政策と新たな日韓文化交流—韓国の放送産業における、放送プログラムの輸出入の状況を中心として—」

2) 山崎 麻里（青山学院大学大学院総合文化政策学研究科修了生）

「韓国現代演劇と日韓舞台芸術交流」

3) 張 そんひ（法政大学大学院国際文化研究科博士後期課程）

「童謡にみる〈夢・希望〉の日韓比較」

11:15~13:15 共通論題〔1・2・3・4〕

●共通論題1

「第一次世界大戦後の『国際協調思想』と『革新思想』の相克—1920年代を中心に—」

司会：クリストファー・W・スピルマン（九州産業大学教授）

報告者：木下 宏一（保健医療経営大学非常勤講師）

「反国際協調主義としての右翼思想—1920年代の綾川武治の場合」

伊藤 信哉（松山大学法学部准教授）

「1920年代『外交時報』にみる日本の国際情勢認識」

澤田 次郎（拓殖大学政治経済学部教授）

「対英米協調から自主外交へ——徳富蘇峰の事例を中心に」

●共通論題2

「日本の国際関係における通訳翻訳コミュニケーションの文化性：異文化コミュニケーションの視点から」

司 会：鳥飼 玖美子（立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科

異文化コミュニケーション専攻特任教授）

報告者：水野 真木子（金城学院大学文学部教授）

「コミュニティ通訳者の文化仲介者としての役割」

中村 幸子（愛知学院大学文学部准教授）

「法廷通訳者の訳語選択が心証形成に与える影響—異文化コミュニケーションの問題を中心に—」

坪井 睦子（立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科

異文化コミュニケーション専攻特任准教授）

「国際報道における翻訳の不可視性と文化の介在」

齊藤 美野（津田塾大学英文学科非常勤講師）

「明治文学翻訳における文化受容」

河原 清志（金城学院大学文学部准教授）

「国際文化学から見た通訳翻訳行為の多層性」

●共通論題3

「日米交流史の再検討—非国家主体に注目して—」

司 会：都丸 潤子（早稲田大学政治経済学術院教授）

報告者：飯森 明子（常磐大学国際学部非常勤講師）

「戦前における日米協会の活動」

牧田 東一（桜美林大学基盤教育院教授）

「冷戦とアメリカの social power：1950年代のフォード財団の日本での活動」

毛受 敏浩（日本国際交流センター業務執行理事兼チーフプログラムオフィサー）

「戦後における日米姉妹都市交流の展開」

討論者：五十嵐 武士（桜美林大学大学院国際学研究科教授）

●共通論題4

「現在に生きる能楽—内と外の視点による事例と検討—」

司 会：鈴木 裕輔（法政大学国際日本学研究所客員学術研究員）

報告者：ティタニラ・マートライ（早稲田大学坪内博士記念演劇博物館研究員）

「劇的な空間を映画的な空間へ——新藤兼人『鬼婆』と『藪の中の黒猫』をめぐって」

マガリ・ブーニュ（ストラスブール大学大学院文学研究科博士候補生）

「もう一つの羽衣伝説：パリでの初めての能の上演とその創造の過程」

カトリーナ・ムーア（ニューサウスウェールズ大学社会科学院准教授）

「愛好家はいかに能を舞うか——日常生活、稽古、女性を手掛かりに」

鈴木 裕輔（法政大学国際日本学研究所客員学術研究員）

「学校教育における『日本の伝統芸能の教育』の実際——公立高等学校における事例を中心に」

13:15~15:00 常任理事会と理事会の共同開催、昼食

15:00~17:30 特別シンポジウム

●特別シンポジウム

「災害と言葉、そして言葉と災害」

モデレーター：川村 湊（文芸評論家、法政大学国際文化学部教授）

パネリスト：東 浩紀（早稲田大学文学学術院教授、『思想地図 6』編集長）

平野 啓一郎（作家）

星加 良司（東京大学大学院教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究

センター専任講師）

コーディネーター：白石 さや（東京大学大学院教育学研究科教授）

18:00~20:00 情報交換会（会場：国際文化会館地価会議室 樺山・松本ルーム）

7月8日（日）

【会場：青山学院大学総研ビル】

9:00~11:00 自由論題セッション C・D

●セッション C

司会：川村 陶子（成蹊大学文学部准教授）

1) 上品 和馬（早稲田大学日本語教育研究センター非常勤講師）

「近代日本の対外広報：新渡戸稲造と鶴見祐輔の活動を中心として」

2) 越智 淳子（早稲田大学アジア研究機構、アジア北米研究所、

日韓グローバル研究所客員研究員）

「日本文明・文化論：国内と米欧における時代的諸相・相互浸透と乖離と『近代』との関係」

3) 川村 明海（龍谷大学大学院国際文化学研究科）

「中世ロシアにおける『二重信仰』と建築との関連性」

●セッション D

司会：都丸 潤子（早稲田大学政治経済学術院教授）

1) シュミット・クラウディア（桃山学院大学文学研究科比較文化専攻博士後期課程）

「21世紀における茶—その表現と意義—」

2) 横川 潤（文教大学国際学部国際観光学科准教授）

都筑 馨介（文教大学健康栄養学部管理栄養学科教授）

笠岡 誠一（文教大学健康栄養学部管理栄養学科准教授）

「食文化へのインターディシプリナリー・アプローチ」

3) 太 承吉（中部大学大学院国際人間学研究科国際関係学専攻博士後期課程）

「日本に來住する中国朝鮮族の進路選択：東アジアにおける朝鮮族の移動、移住の展開」

4) 玉腰 辰己（笹川平和財団研究員）

孫 雪梅（南開大学日本語学科講師）

「日中国交回復後 40 年の映画交流」

11:15~13:15 共通論題 [5・6・7]

●共通論題 5

「アジア太平洋地域の国際関係：太平洋問題調査会（IPR）とその群像」

司会：片桐 庸夫（群馬県立女子大学国際コミュニケーション学部）

報告者：山内 晴子（玉川聖学院）

「埴原正直と朝河貫一の外交政策の比較」

福井 七子（関西大学外国語教育研究機構）

「ヘレン・ミアーズの日本論」

山岡 道男（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科）

「日本におけるマッカーシズム研究とマッカーシズム期に関する IPR 研究」

●共通論題 6

「地域社会と環境保全—南方熊楠の神社合祀反対運動再考」

コーディネーター：松居 竜五（龍谷大学国際文化学部准教授）

パネリスト：櫻井 想（龍谷大学大学院国際文化学研究科博士課程）

畦上 直樹（上越教育大学大学院学校教育研究科准教授）

田村 義也（南方熊楠顕彰館理事）

●共通論題 7

「文学で見る日本モンゴルの文化交流」

司会：富川力道（日本ウェルネススポーツ大学スポーツプロモーション学部准教授）

報告者：岡田 和行（東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授）

「日本におけるモンゴル文学研究」

富川 力道（日本ウェルネススポーツ大学スポーツプロモーション学部准教授）

「日本モンゴル俳句の翻訳と問題点」

芝山 豊（清泉女学院大学人間学部教授）

「モンゴル語世界の司馬遼太郎と村上春樹」

13:15~14:00 総会、昼食

14:00~16:00 フォーラム

●フォーラム

「学会認定資格創設の必要性と課題—国際文化学の学士力の可視化に向けて」

司 会：吉岡 剛彦（佐賀大学文化教育学部准教授）

パネリスト：木原 誠（佐賀大学文化教育学部教授）：詩学（**poetics**）／文学の立場からみた文化
創成の意義

杉浦 勢之（青山学院大学総合文化政策学部教授）：文化創造を念頭に置いた教育と
その課題

ほか一名を予定

討 論 者：松居 竜五（龍谷大学国際文化学部准教授）